

第4回幌延町総合計画審議会

日 時 令和3年2月15日（月）
午後2時から
場 所 幌延町役場 2階大会議室

議 事 次 第

1 議事 第6次幌延町総合計画 前期基本計画（素案）の審議について

(1) 基本目標3 健やかな暮らしを共に支える【保健・福祉・医療】

(2) 基本目標4 生きる力と文化を育む【教育・文化】

(3) 基本目標5 豊かな自然と安全を守る【環境保全・自然環境】

5-6 環境衛生の向上

5-7 消防・防災・減災体制の強化と防犯・交通安全対策の推進

3 防犯対策の推進

4 交通安全対策の推進

2 その他

議事録

会議等の名称		第4回幌延町総合計画審議会【午後の部】		
実施年月日	令和3年2月15日	場所	幌延町役場2階 大会議室	時 間 14:00~16:00
出席者	審議会委員：一関捷治委員長			
	福祉・民生専門部会：吉原哲男委員、小西均委員、大塚達也委員、小玉利治委員、佐藤光浩委員			
	教育・文化・体育専門部会：無量谷隆委員、角山隆委員、小野篤夫委員、木山保委員			
	(出席9名、欠席3名)			
町：角山企画政策課長、山下主幹、梶係長				
議事概要				
1. 開会：委員長				
・本来一堂に会して審議すべきところ、コロナウイルスの関係で3密を避けるため、2部会ごとに分け、午前の部・午後の部として審議する。				
・委員総数26名の内、午前は8名、午後は9名計17名の出席のため、過半数13名は上回っている。				
2. 事務局から補足：事務局				
・令和2年6月に、基本構想・重点戦略（第2期幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略）は審議済み。 (基本構想は議決済み)				
・今回は、10年間の計画期間のうち、令和2年度から令和6年度までの前半5年間の事業内容等を定める前期基本計画についてご審議いただく。				
3. 議事：委員長進行				
・説明：事務局				
1 第6次幌延町総合計画前期基本計画（素案）について				
・配布資料の説明（レジュメ、前期基本計画の構成、修正一覧、前期基本計画（素案20210214修正））				
・前期基本計画の構成について説明（基本目標1～5及び主要施策については、基本構想で決定済み）				
・修正箇所一覧のうち、大きな変更等あった部分について説明				
(1) 基本目標3 健やかな暮らしを共に支える【保健・福祉・医療】				
・別紙修正箇所一覧のうち網掛け部分及び事前意見への回答について説明				
質疑等				
委員：P.44 高齢者支援事業あるが、さらにひとり暮らし高齢者等居住環境整備事業をあえて列挙するのか？				
事務局：高齢者支援事業はソフト事業、ひとり暮らし高齢者等居住環境整備事業は例えばケアハウスなどのハード事業として記載している。				
委員：事前回答の高齢者除雪サービスについて、聞き漏らしたので再度回答を。				
事務局：町道除雪と高齢者サービスの観点から、高齢者が地域に住み続けるうえで検討すべき課				

題と認識している。

委員：目標指標では、令和6年度に50人に増やすという目標だが、事業内容を変えるのか。

町内に家族がいる場合は利用対象外という条件があるが、現行の運用で、絶対数を増やす考えなのか。独居高齢者が今後増えるので利用が増えるということか。

事務局：ご指摘のとおり、対象者は増えていくと思う。体制確保も含めての利用増と理解。

委員：P. 40 社協、福祉団体の文言を修正し、もう少し広くとのことだが、社協は福祉団体ではないのか？福祉団体の一つではないかと思うが…、「社会福祉協議会をはじめとする…」という意味か？

事務局：そのとおり。

委員：P. 42 アクティブシニア人材登録は今年中にするのか？

事務局：シルバー人材センターという組織があればサービス提供できるとしていたが、組織化が進まない状況の中、動きを早くするため、アクティブシニア人材登録制度の構築を進めるもの。具体の動きは次年度以降かと思う。組織にこだわらず登録してくれた人に動いてもらうことができるようになるかと聞いている。

委員：サービス提供範囲は？

事務局：困りごとへの対応になると思うが、登録人材の人数やスキルによるのではないかと。

委員：シルバー人材センターは、以前から設立を望む声があった。稚内市にはセンターがあり色々活動しているが、他の市町村を視察して幌延町にあったものを作りたいという前向きな話になってくれれば。ぜひ頑張って作ってほしい。

事務局：具体は把握していないが、人材が登録制度が進めば組織化の可能性も高まる。

(2) 基本目標4 生きる力と文化を育む【教育・文化】

・別紙修正箇所一覧のうち網掛け部分及び事前意見への回答について説明

質疑等

委員：P. 59 不登校児童生徒の目標が令和6年度0%とあるが、途中で発生した場合はどうなるのか？

事務局：目標が達成できなかったとなるが、不登校児童を出さないこと、常に0を目指し、取組を進めるとご理解いただきたい。

委員：不登校児童生徒の割合は、目標として削除していいのではないかと？学校に来られない事情は個々にあって、リモートなども含めて、学校も対応を考えている。今の教育は数値だけではないのではないかと。学校としても最善を尽くす、教育委員会も学校と連携して動いている、別の指標とするべきでは？

事務局：教育委員会と調整する。

委員：P. 58 小中一貫教育の推進と小中一貫校とは別？学校数が減るのでは？

事務局：学校数を減らすわけではなく、施設は維持する。学校の補修や改修について計画に記載。

委員：施設は維持するのか？営繕も含めて、併置校も含め、小中もそうだが幼児教育も一貫して

考えていくということになっている。

委員：P. 56以降、現状を踏まえた文言修正しているが、町の教育目標は平成5年から変わっていない。国や道が変わるなら、町の教育目標も変更していくべき時期ではないか？

委員：P. 69 図書室の充実と貸出冊数について、公共施設で文献の貸出ができる自治体ある、学校の図書館には本があるので、冊数を増やしたいなら学校での貸出ができるような体制を構築してはどうか？図書室まで行かなくても済む取組ができてもいいのではないかと、貸出場所を中学校などに予約しておき、そこに配置するなどできないか。

事務局：教育委員会と調整する。

委員：P. 69 文化遺産の保存について、浜里に先住民族のオトンルイ史跡があることを誰も知らないで、PRを検討してほしい。

事務局：審議会でのご意見として担当部署に伝えます。

委員：P. 69 金田心象書道美術館は特徴的で幌延にとっては大きな施設、誇るべき施設だと思うが、来館者が少ないのも事実かと思う。ギャラリーで展示などしているが、さらに力を入れ、書道美術館の方にも入館できるよう工夫してほしい。

事務局：観光とのタイアップなどの工夫もできると思う、過去に実施したJRウォーキングラリーのチェックポイントに設定したところ好評だった。

委員：郷土資料館は平日しか開館していないため、仕事に就いているとなかなか見ることができないので、昼休みや土日に開館してくれるよう考えてほしい。

事務局：以前、他の委員からも同様の意見あり。審議会でのご意見として担当部署に伝えます。

委員：昼休みは見ることができる。

委員：P. 63 町内書初め展について、せっかくなら書初め教室や皆で書くなど、工夫してはどうか？

事務局：町主催の書道教室は、大人・子どもに関わらず参加可能。また、放課後には学校で練習の時間を設けている。審議会でのご意見として担当部署へ伝える。

委員：書初め審査は段持ちとかやってるのか？

事務局：各学校の校長先生などで審査している。

委員：審査基準があって、普段の生活ぶりも見ながら審査している。芸術的な部分の審査は非常に難しい部分。

委員：P. 58 インクルーシブ教育とはどういう教育か？

事務局：障がい者の権利に基づく共生教育、自立と社会参加を見据えた多様で柔軟な仕組み

(3) 基本目標5 豊かな自然と安全を守る【環境保全・自然環境】

・別紙修正箇所一覧のうち網掛け部分及び事前意見への回答について説明

質疑等

委員：P. 88～89 環境意識の高揚については、普段の生活、つまり家庭・学校が関連する。

ゴミの分別、リサイクルは小さい頃から取り組まないと、意識は育たないのではないかと。

幼児教育の時から系統的に環境教育をするべきと思う。

委員：小学4年生の社会科見学で西天組合に来てゴミ分別の必要性について学習している。

委員：空き缶拾いをしているが、道路にポイ捨てが多い。いちごっこであり、家庭教育や道德教育にしっかり位置付けないといつまでたっても道路のポイ捨ては終わらない。

しっかり町の政策として環境教育を考えていくべき。

委員：P. 92 防災体制の充実の防災減災意識高揚で、学校は避難場所になる。高校がない幌延では、お手伝い部隊となり得る中学生も一緒になって考える必要があるのではないかと。

系統立てて、教育の一環で施策、推進の在り方を検討していくべきでは。

学校教育でも取り組んでいくが…。

事務局：実際に避難場所として使用する場合、施設管理者との連携・調整が必要と考える。

審議会でのご意見として、担当部署へ伝えたくて調整を図る。

委員：P. 91 消防防災の体制強化について、防災士という資格持っている人の資質向上を項目に加えては？道のHPに掲載されているが、幌延町には有資格者多いので、そこを育て支援していく取組が必要ではないか？資格を活かす仕組みとして。3日間の講習と試験で取得可能。

消防、警察経験者は特例制度で取得可。

事務局：審議会でのご意見として担当部署へ伝えたくて調整を図る。

・委員長から午後の部出席委員に対し、3/9までのパブコメの結果、大幅な変更が必要な意見の提出があった場合には別途会議を開催するが、軽微な修正等については事務局に一任すること及び町長への答申については委員長が代表して行うことについて提案

→ 一同了承

2 その他

事務局から、会議報酬等については、後日口座振込すること及び本日の議事録は後日送付する旨連絡。

以上

幌延町総合計画審議会委員名簿(R3. 2. 15現在)

NO.	機関	職名	氏名	部会
町議会議員				
1	幌延町議会	議員	斎賀 弘孝	◎まちづくり・行財政専門部会
2	幌延町議会	議員	吉原 哲男	福祉・民生専門部会
教育委員会委員				
3	教育委員	委員	澤谷 敦美	○教育・文化・体育専門部会
農業委員会委員				
4	農業委員	会長	小島 和博	◎産業・経済専門部会
国及び道の地方行政機関の職員				
5	留萌家畜保健衛生所	所長	山本 慎二	産業・経済専門部会
6	幌延河川事務所	所長	渋谷 直生	まちづくり・行財政専門部会
町の区域内の公共的団体の代表者				
7	民生委員協議会	会長	小玉 利治	福祉・民生専門部会
8	幌延町農業協同組合	部長	谷口 智哉	産業・経済専門部会
9	幌延町観光協会	理事	高橋 秀明	産業・経済専門部会
10	幌延市街地区連合町内会		一関 捷治	まちづくり・行財政専門部会
11	問寒別地区連合町内会	推薦	小川 國弘	教育・文化・体育専門部会
12	幌延町商工会	会長	松永 継男	○産業・経済専門部会
13	幌延町文化協会	会長	無量谷 隆	教育・文化・体育専門部会
14	幌延町体育協会	会長	角山 隆	教育・文化・体育専門部会
15	生涯学習センター運営審議会 (社会教育委員)	委員長	小野 篤夫	教育・文化・体育専門部会
16	幌延町社会福祉協議会	事務局長	大塚 達也	○福祉・民生専門部会
17	幌延町職員組合	推薦	新野 貞治	まちづくり・行財政専門部会
18	幌延福祉会	施設長	小西 均	◎福祉・民生専門部会
19	JR幌延駅	駅長	高橋 公晴	まちづくり・行財政専門部会
20	幌延郵便局	局長	佐藤 光浩	福祉・民生専門部会
21	稚内信金幌延支店	支店長	佐藤 直樹	○まちづくり・行財政専門部会
22	雪印Milk幌延工場	総務課長	山本 耕司	産業・経済専門部会
23	北海道電力幌延NWセンター	所長	佐々木 幸男	産業・経済専門部会
学識経験者				
24	北大天塩研究林	林長	高木 健太郎	◎教育・文化・体育専門部会
25	幌延地圏研究所	推薦	木山 保	教育・文化・体育専門部会
26	幌延深地層研究センター	副所長	篠田 典幸	産業・経済専門部会
町長が適当と認める者（一般公募）				
27	公募		なし	
28	公募		なし	
29	公募		なし	
30	公募		なし	

まちづくり・行財政専門部会	6名
福祉・民生専門部会	5名
産業・経済専門部会	8名
教育・文化・体育専門部会	7名
計	26名